

2026-09-24
TGSW 事務局

TGSW2026開会式

開会式

- 日時: 10月1日(木)午前10時～午前11時 20分
○場所: 筑波大学 大学会館 ホール
○司会: 池田 潤 特命教授・高橋 吏良 特任准教授(国際会議推進部門長)
○基調講演: 宇野 善昌 内閣総理大臣補佐官
○プログラム(案)

時刻	時間	項目	対応者	備考
09:55	5分	開会前のアナウンス	池田 特命教授 高橋 特任准教授	
10:00	3分	開会の辞	池田 特命教授 高橋 特任准教授	
10:03	12分	学長挨拶	永田 恭介 学長	
10:15	5分	来賓祝辞(調整中)	UGA Yassine Lakhnech 学長による ビデオメッセージ、もしくは Étienne Gheeraert 副 学長代読	
10:20	10～ 15分	講演	Interuniversity Microelectronics Centre(IMEC)創始者 Prof. Marcel Van de Voorde	
10:35	2分	基調講演者の紹介	池田 特命教授 高橋 特任准教授	
10:37	35分	基調講演 「日本の科学技術イノベーション 政策」について	宇野 善昌 内閣総理大臣補佐官	
11:13	3分	閉会の辞	池田 特命教授 高橋 特任准教授	
11:15	5分	グループ写真の撮影	会場参加者 全員	

*同時通訳 有(日本語⇄英語)

*開会式終了後、会場内にて、11:30までの間、記者から登壇者に対して、
インタビュー取材(ぶら下がり)をお受けすることができます。

2026年9月24日

学生・若手研究者と考える筑波研究学園都市の未来
Envisioning the Future of Tsukuba Science City
with Students and Young Researchers

1. 日時: 令和8年10月1日(木)13:00-14:30
2. 場所: 筑波大学 大学会館 ホール
3. 言語: 日本語(同時通訳付き:日本語⇒英語)
4. 司会: 高橋 吏良 特任准教授(国際会議推進部門長)
5. 来賓: 宇野 善昌 様 (内閣総理大臣補佐官(国土強靱化及び復興等の社会資本整備並びに科学技術イノベーション政策その他特命事項担当))
6. テーマ: 学生・若手研究者と考える筑波研究学園都市の未来
7. プログラム ※時間配分等の詳細は変更になる場合があります。

時刻	時間	項目	登壇者
13:00	5分	開会挨拶	永田 恭介 筑波大学長
13:05	18分	学生発表(1人5分×3人) テーマ「私が考える筑波研究学園都市の未来」	学生×3人
13:23	12分	若手研究者発表(1人5分×2人) テーマ「日本の研究力を牽引する筑波研究学園都市の可能性 ～戦略17分野を踏まえて～」	若手研究者×2人 ※詳細は別紙参照
13:35	45分	座談会 テーマ「筑波研究学園都市を 世界一のサイエンスシティにするために」	計9人(※詳細は別紙参照) (内訳) ・ファシリテーター1人 (大矢晃久 筑波大学大学執行役員) ・発表者5人(上記のとおり) ・有識者4人(五十嵐立青つくば市長 他 研究機関2人、民間1人)
14:20	5分	講評	宇野 善昌 様 (内閣総理大臣補佐官)
14:25	5分	閉会挨拶	加藤 光保 筑波大学理事・プロボスト

別紙

座談会

テーマ「筑波研究学園都市を世界一のサイエンスシティにするために」

<ファシリテーター>

大矢 晃久 筑波大学大学執行役員

<発表者>

・筑波大学学生

人間総合科学学術院人間総合科学研究群パブリックヘルス学位プログラム 嘉正 空知 氏

人間総合科学学術院人間総合科学研究群教育学学位プログラム 栗原 美沙 氏

人間総合科学学術院人間総合科学研究群医学学位プログラム Kim Taehyeong 氏

・若手研究者

国立研究開発法人土木研究所 技術推進本部先端技術チーム 遠藤 大輔 氏

筑波大学医学医療系/国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IIIS) 齊藤 毅 准教授

<有識者>

・研究機関

国土交通省国土技術政策総合研究所 星隈 順一 所長

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 山本 勝利 理事

・民間

つくばまちなかデザイン株式会社事業推進部マネージャー/科学教室 TanKen 開発担当

武田 真梨子 氏(筑波大学卒業生)

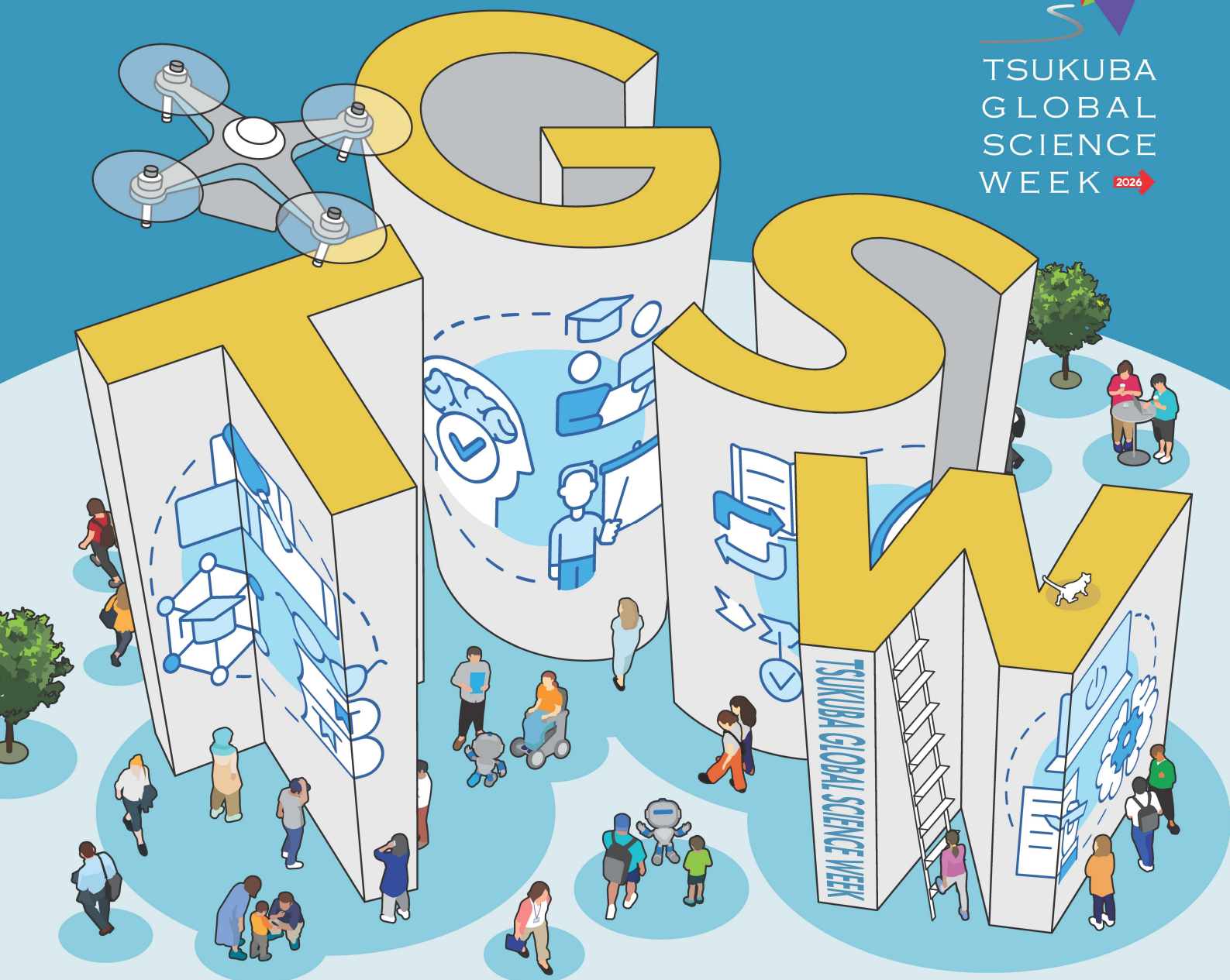
・自治体

つくば市 五十嵐 立青 市長

TGSW2026 Session List



Session No.	Session Category	Format	Session Title	Date & Time (JST)	
0-1	Plenary Session	対面	開会式・基調講演	10月1日(木)	10:00~11:00
0-2	Plenary Session	対面	閉会式	10月3日(土)	17:00~18:00
2-1	CiC Joint Session	ハイブリッド	医学・生命科学の最前線 ~医学・生命科学国際学生発表会~	10月2日(金)、3日(土)	10:00~17:00
2-2	CiC Joint Session	ハイブリッド	持続可能な社会に向けたダブルディグリープログラムにおけるAI駆動型学際研究	10月1日(木)	15:00~17:00
2-3	CiC Joint Session	ハイブリッド	国際連携食料健康科学専攻設立10周年記念シンポジウム：食と健康の未来への飛躍	10月2日(金)	14:00~17:00
2-4	CiC Joint Session	ハイブリッド	国際連携による学術分野を越えた新たな知の開拓	10月1日(木)	14:00~18:00
2-5	CiC Joint Session	ハイブリッド	PILEシンポジウム ― 言語教育におけるフレーズ学：国境を越えたネットワークの構築とコーパスに基づくソリューション	10月3日(土)	10:30 ~ 12:30/14:30 ~ 17:00
3-1	Tsukuba Science City Joint Session	対面	学生・若手研究者と考える筑波研究学園都市の未来	10月1日(木)	13:00~14:30
4-1	Free Theme Session	対面	第14回ドイツ語圏日本学術振興会研究者同窓会定例会	10月2日(金)	14:00~17:00
4-2	Free Theme Session	オンライン	マイクロレデンシャルの最前線 アカデミア×JV-Campus	9月30日(水)	14:00~15:30
4-3	Free Theme Session	ハイブリッド	Materials × Crossing Borders ― 絵画素材による越境と対話	10月1日(木)、2日(金)	10:00~17:00
4-4	Free Theme Session	対面	次の10年へ：ライフイノベーション学位プログラムが拓く国際研究者ネットワーク	10月2日(金)	10:00~12:20
4-5	Free Theme Session	ハイブリッド	粒子線治療の次なるステップへ	10月1日(木)	15:00~17:30
4-6	Free Theme Session	ハイブリッド	学際的リスク・レジリエンス工学の進展	10月2日(金)	14:00~17:00
4-7	Free Theme Session	ハイブリッド	新たな時代のユニバーサルサービスの可能性：AIを活用したインクルージョン	10月2日(金)	14:00~16:30
4-8	Free Theme Session	ハイブリッド	スマート精密農業から次世代農業の革新を推進する果樹園ベースの自動化システム	10月3日(土)	11:00~16:00
4-9	Free Theme Session	ハイブリッド	地域食資源の知見を活かしたグローバルヘルス戦略：機能性食品を超えて	10月1日(木)	13:30~17:30
4-10	Free Theme Session	ハイブリッド	フィールドから未来へ：学生が描く環境・災害・エネルギーに関わる課題解決ピッチ	10月1日(木)	14:00~17:00
4-11	Free Theme Session	ハイブリッド	人間形成のメソドロジー：人とAIの境界を問い直す	10月2日(金)	14:00~16:30
4-12	Free Theme Session	ハイブリッド	嘉納治五郎と教育 ―受け継がれる教えと21世紀への挑戦	10月2日(金)	10:30~17:00
4-13	Free Theme Session	ハイブリッド	Tsukuba Universal Alumni Network (TUAN) -現役学生と海外同窓生を繋ぐ-	10月2日(金)	14:00~16:30
4-14	Free Theme Session	ハイブリッド	Shaping Global Startupper: Co-Creation for Global Futures~大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業成果報告会~(仮)	10月2日(金)	15:00~17:00
4-15	Free Theme Session	ハイブリッド	南米を対象としたStudy in Japan 10周年記念セッション	10月2日(金)	15:30~17:15
4-16	Free Theme Session	ハイブリッド	「先駆者に学ぶ - シリーズ 日本と世界を橋渡すプロフェッショナルたち」	10月1日(木)	15:00~18:00
5-1	Student Session	対面	筑波大学×SDGs -「学食メニューのCO ₂ 見える化プロジェクト」から見えたモノ-	10月1日(木)	15:00~18:00



2026 SEP. 29 TUE ▶ OCT. 3 SAT

University Hall, University of Tsukuba / Online
Language: English / Free to participate / Registration Required

筑波大学大学会館 / オンライン

使用言語: 英語 / 参加費無料 / 参加登録制

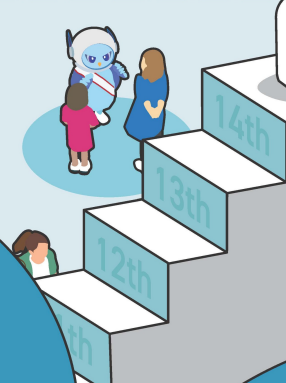
2026



	Sep. 29 Tue.	Sep. 30 Wed.	Oct. 1 Thu.	Oct. 2 Fri.	Oct. 3 Sat.
Online	●	●	●	●	●
Face-to-face	●	●	●	●	●

<https://tgs.w.tsukuba.ac.jp>

*Registration opens in August 2026



日本の 科学技術

Science, Technology

イノベーション and Innovation Policy in Japan

政策
について



Keynote Speaker

内閣総理大臣補佐官

宇野 善昌

UNO Yoshimasa



T | G | S | W 2026
TSUKUBA GLOBAL SCIENCE WEEK

開会式 基調講演

日時

10月1日 (木曜日)
AM10:00 - AM11:00

場所

筑波大学 大学会館 ホール
University hall, University of Tsukuba

使用言語

日本語 (英語同時通訳あり)
Japanese (English interpretation available)

参加費

無料 (参加登録制) / Free of Charge
※どなたでも参加可能

一橋大学社会学部卒業。建設省 (現国土交通省) 入省後、都市政策・地域振興分野を中心に行政実務に従事し、内閣官房参事官、国土交通省都市計画課長、同道路局次長などを歴任。この間、甲府市副市長、茨城県副知事として地方行政にも携わる。

その後、国土交通省都市局長、同大臣官房長、復興庁統括官を経て復興庁事務次官に就任。

2025 年より内閣総理大臣補佐官 (国土強靱化、復興、社会資本整備、科学技術イノベーション政策等担当)

Register here
参加申込はこちら



TGSW2026 公式サイト
<https://tgs.w.tsukuba.ac.jp/>



筑波大学
University of Tsukuba



TSUKUBA GLOBAL SCIENCE WEEK 2026

TGSW 2026

筑波共創推進局セッション

学生・若手研究者と考える 筑波研究学園都市の未来

筑波研究学園都市の次なる50年を、学生と若手研究者の視点から描く。
未来を担う世代と第一線の有識者がともに考える特別セッション。



2026

10.1 木

13:00-14:30



場所

筑波大学
大学会館 ホール

つくば市天久保3丁目1



言語

日本語

同時通訳付き
日本語 → 英語

来賓



宇野 善昌 様
内閣総理大臣補佐官

国土強靱化及び復興等の社会資本
整備並びに科学技術イノベーション
政策その他特命事項担当

PROGRAM

- 開会挨拶 永田 恭介 筑波大学長
- 学生発表 テーマ「私が考える筑波研究学園都市の未来」
- 研究者発表 テーマ「日本の研究力を牽引する筑波研究学園都市の可能性
～戦略17分野を踏まえて～」

- 座談会 学生・研究者・研究機関・企業・自治体関係者によるクロストーク
テーマ「筑波研究学園都市を
世界一のサイエンスシティにするために」
- 閉会挨拶 加藤 光保 筑波大学理事・プロボスト

座談会

ファシリテーター

大矢 晃久

筑波大学大学執行役員
筑波共創推進局長

パネリスト

- ・自治体関係者 五十嵐 立青 市長（つくば市）
- ・本学学生 嘉正 空知 さん / 栗原 美沙 さん / Kim Taehyeong さん
- ・研究者 遠藤 大輔 氏（国立研究開発法人土木研究所 技術推進本部先端技術チーム） / 斉藤 毅 准教授（WPI-IIS・筑波大学医学医療系）
- ・研究機関関係者 星隈 順一 所長（国土交通省国土技術政策総合研究所） / 山本 勝利 理事（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）
- ・民間企業関係者 武田 真梨子 氏（つくばまちなかデザイン株式会社事業推進部マネージャー・科学教室 TanKen 開発担当）

※順不同

TGSW2026
詳細はコチラ

お問合せ

筑波共創推進局



tsukuba.co-creation@un.tsukuba.ac.jp



029-853-5130



筑波大学
University of Tsukuba



Date & Time: October 2 (Fri) and 3 (Sat), 2026

Room: Special conference room (Oral),
30th Anniversary Hall Lounge (Poster)

2 - 1 International Student Presentations of Medical and Life Sciences

This session is for the [graduate students in the fields of medical and life sciences](#). We hope this opportunity help you have open discussion, interact with professors, researchers and students, and make your CV more competitive.

Program

Day1: Oct. 2 (Fri)

9:30 - Opening Remark
9:40 - 12:15 Oral Session
13:15 - 14:45 Poster Session
14:55 - 17:15 Oral Session

Day2: Oct. 3 (Sat)

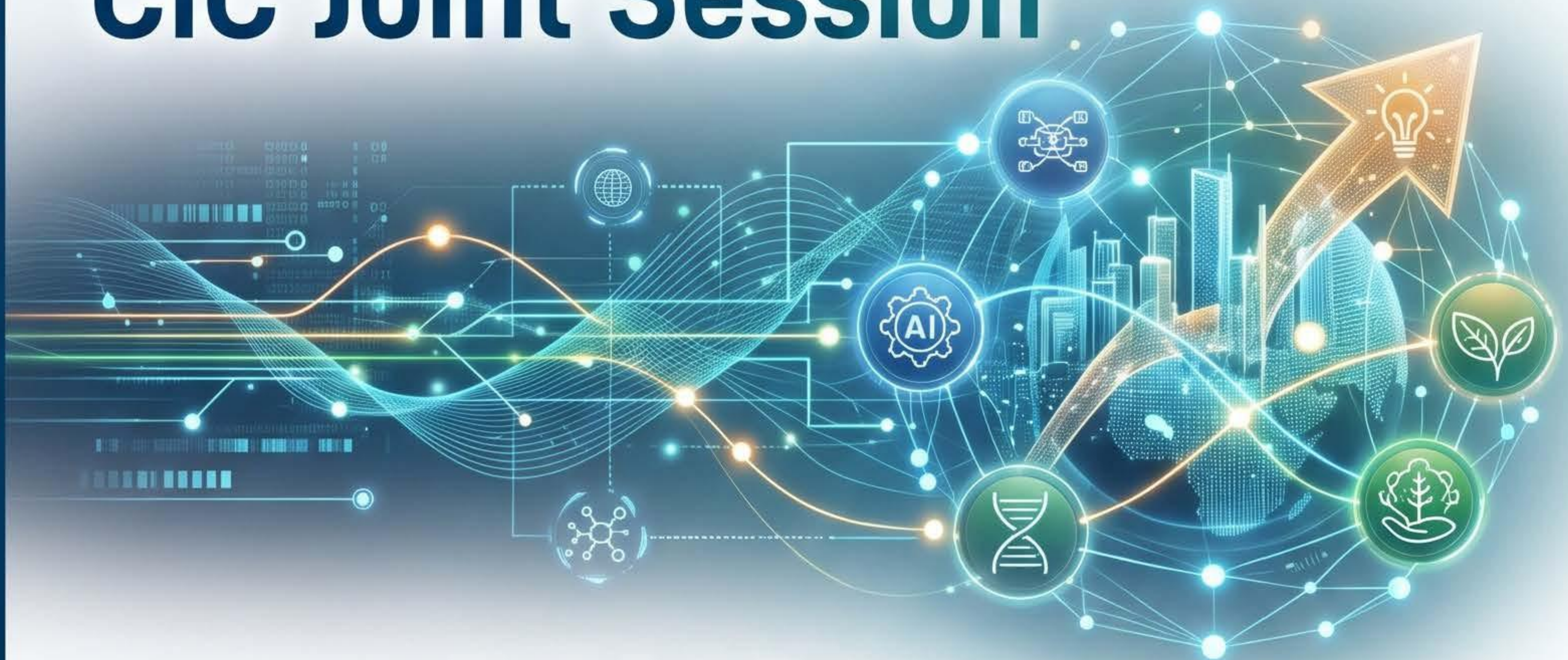
9:30 - 12:15 Oral Session
13:15 - 14:45 Poster Session
14:55 - 16:25 Oral Session
16:35 - 17:00 Award
Ceremony



Contact: tsukuba.international.session@gmail.com

TGSW2026

CiC Joint Session



AI-driven multi-disciplinary research in DDP for a sustainable society

 **Date & Time:** Thursday October 1st, 2026 15:00–17:00

 **Venue:** Special Conference Room, University Hall
at the University of Tsukuba

 **Session type:** Hybrid (onsite + remote)

Program

1. Introduction
Prof. Toshiyuki
Amagasa

**2. Invited talk
from RUB**
Prof. Muhammad
Bilal Zafar

**3. Invited talk
from UB**
Prof Valérie
Schurdi-Levraud

**4. Invited talk
from UGA+UT**
Prof. Koji Hasebe
5. DDP Panel

Co-organized by:



University of
Grenoble Alps



Ruhr University
Bochum



University of
Bordeaux



University of
Tsukuba

Supported by EUXP (International Cooperative Education Program with EU Universities
for Interdisciplinary Fields of Nano- Quantum-, Information-, and Bio-Technologies)

<https://eu-interuniv.pas.tsukuba.ac.jp/en>

GIP - TRIAD

10TH ANNIVERSARY SYMPOSIUM

A Leap to the Future of Food and Health



Congratulatory Remarks by the University Presidents

- Prof. Kyosuke Nagata, University of Tsukuba (UT)
- Prof. Wen-Chang Chen, National Taiwan University (NTU)
- Prof. Dean Lewis, University of Bordeaux (UB)

Photo Session

GIP 10th Anniversary Commemorative Video

Presentations by Alumni

- Yuka Shirai, UT 6th Batch, Sanofi
- Hiro Miyashita, UT 6th Batch, Schneider Electric Japan
- NTU Alumnus/ Alumna (TBD)
- NTU Alumnus/ Alumna (TBD)
- Romain Garrigues, UB 1st Batch, E-BIOM, Namur, Belgium
- Alix Mousel, UB 7th Batch, PhD student, Pasteur Institute

Roundtable with Former and Current Directors

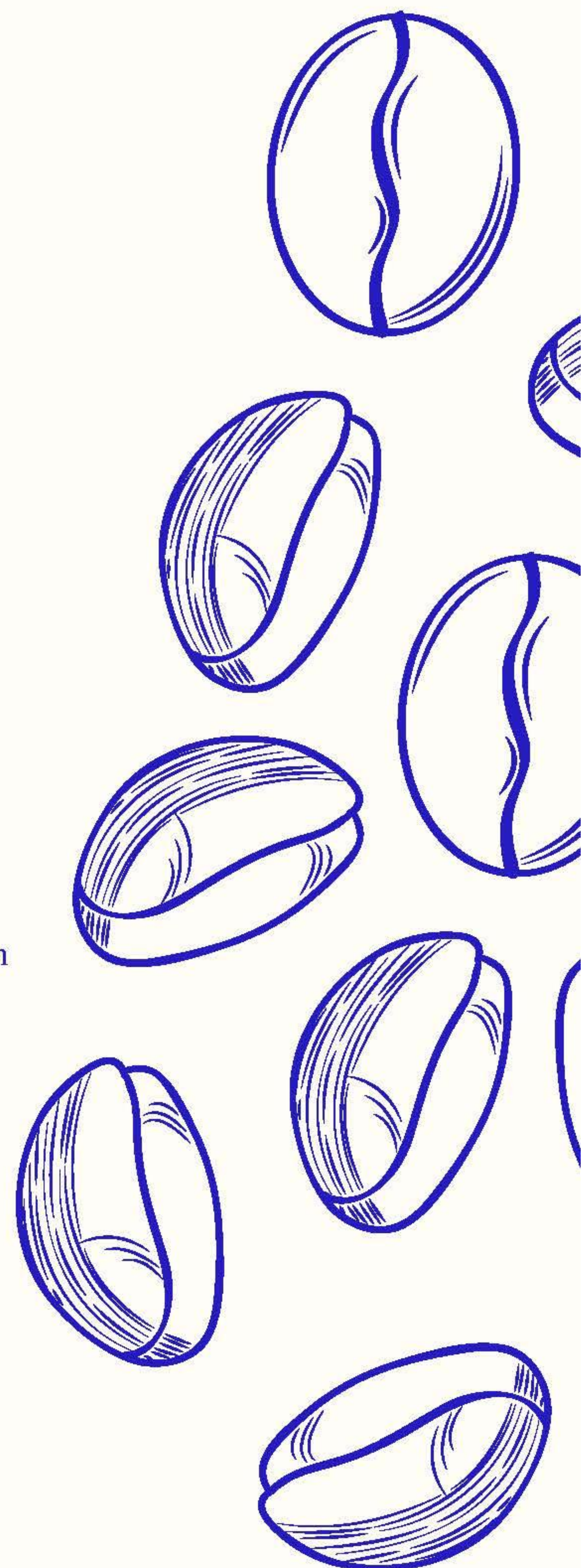
***This session will not be livestreamed.**

- Emeritus Prof. Yoshito Kumagai (UT)
- Prof. Tsai-Kun Li (NTU)
- Emeritus Prof. Dominique Rolin (UB)
- Prof. Masao Ichikawa (UT)
- Prof. Tang-Long Shen (NTU)
- Prof. Kentaro Mori (UB)

02 OCT 2026

Open 13:45, Start 14:00, End 17:00

Auditorium, University Hall, University of Tsukuba
(with live online streaming)



Travel support for UB team
provided by:





Tri-UNI PILE Initiative

Tsukuba Global Science Week 2026

Saturday, 3 October 2026

*From phraseological analysis to didactic exploitation of spoken corpora:
Challenges for foreign language teaching and learning*

SESSION 2-5

🕒 10:30–12:30 | 14:30–17:00

📍 UNIVERSITY OF TSUKUBA
University Hall – Conference Room 3

👤 HYBRID
On-site & Online

PROGRAMME

AM	MORNING SESSION 10:30–12:30			
TIME	SESSION	TITLE	SPEAKER(S)	AFFILIATION
10:30–10:50	Introduction	Opening remarks	Bruno Jactat	University of Tsukuba
		Welcome Address	Dr. Saburo Aoki	University of Tsukuba
10:50–10:55	Break			
10:55–11:15	Presentation 1	Co-occurring connective chains in Japanese editorials (English)	Dr. Andrej Bekeš	University of Ljubljana (formerly University of Tsukuba)
11:15–11:20	Break			
11:20–11:40	Presentation 2	On pragmatic resistance: phraseodidactic remediation through the phraseographic approach (French)	Dr. Alexis Ladreyt Dr. Sanae Harada	Hokkaido University / Grenoble-Alpes University Sophia University
11:40–11:45	Break			
11:45–12:05	Presentation 3	Uses and semantics of the adverb perso in social media discourse (French)	Enzo Doyen Shun Miyakoshi	University of Strasbourg University of Tokyo
12:05–12:30	Discussion			

🍽️ LUNCH BREAK 12:30–14:30

PM	AFTERNOON SESSION 14:30–17:00			
TIME	SESSION	TITLE	SPEAKER(S)	AFFILIATION
14:30–14:50	Presentation 4	From spoken corpora to pedagogical remediation: study of communication strategies of Japanese learners of French (French)	Bruno Jactat Dr. Kosuke Hinai Coline Mailleux	University of Tsukuba University of Fukuoka University of Tsukuba
14:50–14:55	Break			
14:55–15:15	Presentation 5	The Cultural Refraction Model: Understanding Animal Metaphors across Chinese, English, and Japanese (English)	Dr. Te-Hsin Liu	National Taiwan University
15:15–15:20	Break			
15:20–15:40	Presentation 6	Pre-fabricated politeness phrases in a spoken Chinese corpus: from linguistic analysis to didactic reflections (French)	Dr. Rui Yan Pingping Wang	Grenoble-Alpes University Grenoble-Alpes University
15:40–15:45	Break			
15:45–16:05	Presentation 7	Studying language with digital corpora: the example of spoken French for academic purposes (French)	Yi Wang Dr. Cristelle Cavalla Dr. Corinne Weber	Sorbonne Nouvelle University Sorbonne Nouvelle University Sorbonne Nouvelle University
16:05–16:10	Break			
16:10–16:30	Presentation 8	Acceptance and agreement formulas: observations from spoken corpora (French)	Pingping Wang Dr. Agnès Tutin	Grenoble-Alpes University Grenoble-Alpes University
16:30–17:00	General discussion / Round table / Closing			



ABOUT THE SESSION

International and multilingual session on spoken corpora, phraseology, corpus linguistics and language education. Part of the Tri-UNI PILE initiative.



MORE INFORMATION

Details, sign up and updates
<https://tgsu.tsukuba.ac.jp/>



CONTACT

Bruno Jactat
University of Tsukuba
jactat.philippe.gu@u.tsukuba.ac.jp

こんにちは
(Konnichiwa)

Bonjour

你好
(Nǐ hǎo)

Hello

Date & Time: October 2 Fri. 14:00 - 17:00
Room: Laboratory of Advanced Research A, Room A110

4-1 14th Meeting of the German JSPS Alumni Association in Japan

Program

Time	Title	Speaker
14:00	Opening Remarks	① Dr. Thomas Parkner
	Welcome Address	② Dr. Christian Becker-Asano
		③ Simon Essler
	Congratulatory Address	④ Tsuyoshi Shiota
		⑤ Timotheus Felder-Roussety
14:50	Anchoring at Competitor's Acquisition: The Little Peeks Stronger	⑥ Dr. Ralf Bebenroth
15:10	Foreign Investment Law	⑦ Jonathan Krautter
15:30	President's Address	⑧ Dr. Kyosuke Nagata
16:00	Criminal Sanction against Legal Entity	⑨ Dr. Masaaki Yamamoto
16:15	From "Japanese Only" Businesses to Police Profiling: Discrimination and the Law in Japan	⑩ Mika Knör
16:30	University of Tsukuba in Germany: Initiatives of the Bochum Office	⑪ Dr. Akira Uedono
16:45	Promotion of Scientific Exchange between German-Speaking Countries and Japan: The Role of the JSPS Club	① Dr. Thomas Parkner

Outline of the session

The German JSPS Alumni Association (JSPS Club) promotes scientific exchange between Japan and German-speaking countries by strengthening personal and institutional research ties. The 14th Club meeting in Japan features four presentations on law and economy, introduces the University of Tsukuba's Bochum Office and the JSPS Club - which both support collaboration with German-speaking countries - and provides dedicated networking time for participants.

Speakers



① Dr. Thomas Parkner
University of Tsukuba



② Dr. C. Becker-Asano
Stuttgart Media University



③ Simon Essler
DFG



④ Tsuyoshi Shiota
JSPS



⑤ Timotheus Felder-Roussety
Embassy of Germany



⑥ Dr. Ralf Bebenroth
Kobe University



⑦ Jonathan Krautter
Hitotsubashi University



⑧ Dr. Kyosuke Nagata
University of Tsukuba



⑨ Dr. Masaaki Yamamoto
Kindai University



⑩ Mika Knör
Nagoya University



⑪ Dr. Akira Uedono
University of Tsukuba

MATERIALS × CROSSING BORDERS

Dialogue through Painting Materials

1-3 OCTOBER 2026

University of Tsukuba | HYBRID / ON-SITE

Exhibition open 1-9 October

TGSW SESSION 4-3

A three-day international art program led by the University of Tsukuba, bringing together an exhibition and student-led gallery talk, an international symposium, and hands-on workshops. Painting materials become a shared point of inquiry across artistic practice, material research, conservation, and art education.

TGSW-LINKED EXHIBITION · SURFACE MATTER

The international traveling exhibition anchors Day 1 of this TGSW session. Exploring painting technique and surface materiality—including sustainability, AI, digital and traditional media, and gender—it presents works by faculty and students from 18 institutions. Tour: Nuremberg → Tsukuba → Stockholm. Tsukuba venue: University Hall, Multipurpose Hall, 1–9 October 2026.

DAY 1 · THU 1 OCT

EXHIBITION + GALLERY TALK

15:00–18:00

15:00–15:05 Opening Remarks — Mika Hoshi
15:05–15:20 Opening Lecture — Annett Stenzel
15:20–18:00 Student-Led Gallery Talk

University Hall / Multipurpose Hall

DAY 2 · FRI 2 OCT

INTERNATIONAL SYMPOSIUM

14:00–17:00

14:00–14:05 Opening Remarks — Mika Hoshi
14:05–16:55 Presentations & Discussion · Moderator: SAKAY Rodriguez Oscar Eduardo
16:55–17:00 Closing Remarks — Mika Hoshi

University Hall / Multimedia Room

DAY 3 · SAT 3 OCT

HANDS-ON WORKSHOP

10:00–17:00

10:00–10:35 Lecture + Q&A — Kathrin Kinseher
10:40–12:20 I · Materials & Techniques in Germany
12:20–13:20 Lunch Break
13:20–15:00 II · Japanese Painting Techniques
15:10–16:50 III · Japan–Germany Student Workshop
16:50–17:00 General Review + Closing

Studio 6A208, University of Tsukuba

PROGRAM PARTICIPANTS



Mika Hoshi
University of Tsukuba



Annett Stenzel
Academy of Fine Arts
Nuremberg



Kathrin Kinseher
Academy of Fine Arts Munich



Bettina Scholz
Alanus University of Arts and Social
Sciences



Caroline Streck
University of Siegen



Yoshihiro Torigoe
Yokohama University of Art and
Design



Mima Yuzawa
University of Tsukuba



Uwe Siemens
Braunschweig University of Art



**SAKAY Rodriguez
Oscar Eduardo**
Moderator · University of
Tsukuba

SURFACE MATTER · EXHIBITING UNIVERSITIES & INSTITUTIONS

TGSW-linked exhibition · 18 institutions · faculty and student works

Academy of Fine Arts Munich

Academy of Fine Arts Nuremberg

Berlin University of the Arts

Dresden Academy of Fine Arts

University of Fine Arts Hamburg

University of the Arts Bremen

Academy of Fine Arts Leipzig

State Academy of Fine Arts Stuttgart

State Academy of Fine Arts Karlsruhe

Braunschweig University of Art

Burg Giebichenstein University of Art and Design Halle

Alanus University of Arts and Social Sciences

University of Siegen

University of Duisburg-Essen

Royal Institute of Art, Stockholm

Edible Nest Studio

Yokohama University of Art and Design

University of Tsukuba

DETAILS & UPDATES



Date & Time: October 2nd from 10 AM to 12 PM
Room: Conference room #6

4 - 4 Toward the Next Decade: Building Global Researcher Networks through the Life Science Innovation Program

Outline of the session

Since its inception, the Degree Program in Life Science Innovation has attracted students from around the world. They receive instruction from internationally renowned researchers and engage in multidisciplinary research within the life sciences. Students actively pursue knowledge not only in their own specialties but also in other research fields, alongside their multinational and multicultural peers. This approach has fostered the development of individuals capable of transcending national, cultural, religious, and research boundaries to engage in dialogue within the life sciences. In this session, building on the program's decade of activities, we will discuss how to further promote the formation of an international researcher network. This discussion will be informed by presentations from faculty, students, and alumni representing diverse research fields.

Program

Time	Title/Contents	Speaker
10:00	Opening Remarks	Hiroko Isoda (University of Tsukuba)
10:05	The Aims And the Outcomes of "Team Learning in Life Science Innovation": A Specially Designed Course for T-LSI Program	Toshikazu Kamiya (University of Tsukuba)
10:35	Pentacyclic Triterpenoid Maslinic Acid Promotes Hair Growth Comparable to Minoxidil: A New Insight on the Potential Involvement of Cilia Activity	Mizushima Aprill Kee Oliva (ARENA, University of Tsukuba)
10:55	Developing Human-Relevant Blood-Brain Barrier Models for Drug Discovery: Research and Career Development Through the T-LSI Programme	Momi Motohashi (T-LSI, University of Tsukuba)
11:20	Panel Discussion & Group Photo	All Speakers
11:40	Poster Session	T-LSI Students
12:10	Closing Remarks	Sosaku Ichikawa (University of Tsukuba)

Speakers



Toshikazu Kamiya
Adjunct Lecturer, University of Tsukuba



Mizushima Aprill Kee Oliva
Researcher, ARENA,
University of Tsukuba



Momi Motohashi
Master's Student, T-LSI,
University of Tsukuba

TSUKUBA GLOBAL SCIENCE WEEK 2026

TSUKUBA GLOBAL
SCIENCE WEEK 2026

Session No : 4-5

HYBRID

Toward the Next Step in Particle Beam Therapy

粒子線治療の次なるステップへ



01.Oct.2026



15:00pm-17:30pm



**University Hall(First Conference Room),
University of Tsukuba**



Takashi Iizumi

Ibaraki Prefectural
Central Hospital
Radiation Oncologist



Sung Yong PARK

National Cancer
Centre Singapore
Professor



Fang-Ying Hsu

National Taiwan
University
Medical Physicist



Takayuki Yagihashi

Shonan Kamakura
General Hospital
Medical Physicist

REGISTRATION



Key words :

Proton therapy, Heavy-ion therapy, BNCT, AI, AR

Progress in Interdisciplinary Risk and Resilience Engineering

— Session 4-6 —

Showcasing cutting-edge research from an interdisciplinary Collaborative Graduate School integrating academia and industry in risk and resilience.

PART I ORAL PRESENTATIONS



Keynotes

URBAN DISASTER PREVENTION & SOCIAL RESILIENCE

*From Training to Transformation:
Twenty Years of Learning Together for Disaster Resilience*



Dr. Wei-Sen LI

National Science and Technology Center for
Disaster Reduction (NCDR), Taiwan

*From Data Integration to All-Hazard Wargaming:
The Evolution of Taiwan's AI-Enhanced Disaster Decision Systems*



Dr. Wen-Ray SU

National Science and Technology Center for
Disaster Reduction (NCDR), Taiwan



INFORMATION SYSTEMS AND SECURITY

*Smart Contract and AI-Based Framework for
NFT Verification and Operational Support*



Mr. Samuel SANJAYA

University of Tsukuba



ENVIRONMENT & ENERGY SYSTEMS

*In Rock We Trust:
Scoria as a Low-Energy Alternative for
Enhanced Rock Weathering(ERW)*



Dr. Akhmetov ALMAZ

University of Tsukuba



RISK AND RESILIENCE CORE STUDIES

*Resilience Analysis of Distributed
Dynamic Evacuation Guidance Systems*



Dr. Akira TSURUSHIMA

University of Tsukuba /
Formerly with SECOM CO., LTD.

PART II POSTER SESSION

GRADUATE STUDENTS × INDUSTRY & ACADEMIA

Poster sessions by R2EP students and R2EC member institutions.



October 2 (Fri), 2026 14:00-17:00



University of Tsukuba

University Hall, 6th Conference Room

Hybrid (On-site and Online)

Registration

<https://tgs.w.tsukuba.ac.jp/>

(Please select Session 4-6)



Organized by : Master's and Doctoral Program in Risk and Resilience Engineering (R2EP), Univ. of Tsukuba

Co-organized by : Resilience Research and Education Promotion Consortium (R2EC)

Contact: r2ec-sec@risk.tsukuba.ac.jp

The Potential of Universal Services in a New Era: AI-Driven Inclusion

Session 4-7

Produced by

Institution of Library, Information and Media Science, University of Tsukuba

Friday, October 2, 2026 14:00–16:30 (JST)

Venue: University of Tsukuba University Hall, Meeting Room No.3

About The progression of population ageing and the associated rise in the number of dementia patients make the realisation of a society that supports all forms of wellbeing a global challenge. Among nations, Japan stands as the world's most advanced super-aged society and has been at the forefront of promoting universal design to improve the lives of older adults and people living with dementia. This session will explore the current state of universal services in libraries and online, as well as future directions, including the potential use of AI, drawing on personal accounts from individuals living with dementia.



Dr. Masaki Takeda

Assistant Professor,
Institute of Library, Information and Media Science,
University of Tsukuba

Presentation: The Current State and Future Prospects of Universal Services in Public Libraries: Lessons Learned in Japan and Aiming for Global Expansion

In Japan, recent government estimates (published in 2024) project that older adults with dementia will reach approximately 5.84 million by 2040, representing about one in 6.7 older individuals. With the full enforcement of the Basic Act on Dementia in 2024, public library services are now legally and socially driven to create an environment that is accessible to everyone, regardless of the user's characteristics (IFLA-UNESCO Public Library Manifesto 2022). However, in reality, it has become clear that older people with dementia often refrain from using public libraries because they find it difficult to physically access the library, cannot recall their objectives or the actions they need to take when reading or searching for materials, and are self-conscious about being watched by others. In this presentation, we will not only share these findings but also, as a next step building upon them, present the current status of our exploration into providing universal services utilising web and AI technologies. Public library services designed to be dementia-friendly are also beneficial for people with other disabilities and can contribute to the well-being of all.

Ms. Satomi Nunokawa

Founder, Caregiver Network Michikusa NPO,
Chiba Orange Ambassador (Person Living with Dementia),
Certified Care Worker, Certified Nursery Teacher, and
Dementia Support Caravan Mate

Presentation: The information is there. But it doesn't reach me. — Challenges regarding libraries and information as seen by people living with dementia

There is a great deal of information out there, but it doesn't reach me. This is because there is simply too much information coming at me from all angles.

If I only have the information on the spine, my imagination doesn't kick in. There is a wealth of information on computers; anyone can access it simply by looking at the screen. It's not that I want information; I want information that actually reaches me.

In fact, I felt that the central theme here was what constitutes 'people-centred' information.



Mr. Fumiki Kitoh

Representative Director,
General Incorporated Association Borderless,
Social Worker

Presentation: Paving the Way for a Dementia-Accessible Society – Through Collaboration with People Living with Dementia

The Basic Act on Dementia, which aims to promote the realisation of an inclusive society, sets out 'promoting accessibility in the daily lives of people with dementia' as a fundamental principle. Furthermore, the 'Basic Plan for the Promotion of Dementia Measures' designates the 'participation of people living with dementia' in the process—from policy formulation to evaluation—as a key performance indicator, and calls for its implementation. In this lecture, I will discuss how collaboration with people living with dementia is indispensable for creating a barrier-free society for them. Barriers arising from cognitive decline are often difficult for those around them to perceive, necessitating an approach based on the voices and lived experiences of the individuals themselves. By positioning people living with dementia not as 'recipients of support' but as 'active participants in shaping society', and through collaboration between diverse stakeholders—including businesses, public authorities and universities—and people living with dementia, I will outline a path towards realising local communities where everyone can live comfortably.

Dr. Saori Donkai

Vice President, University of Tsukuba;
Professor,
Institute of Library, Information and Media Science

Presentation: Public Libraries as Spaces for Social Inclusion: Contributing to Dementia-Friendly Communities

As the world's population continues to age, dementia has become a major global challenge. With the growing number of people living with dementia worldwide, new perspectives on dementia have emerged. One such perspective is the concept of a dementia-friendly community.

A dementia-friendly community is a place where people living with dementia and their caregivers are included, respected, and supported. In such communities, people with dementia are valued, have a sense of purpose, and are encouraged to participate actively in community life. To realize these communities, it is essential for local residents to deepen their understanding of dementia and develop empathy toward those affected by it. In other words, reducing the stigma associated with dementia is a key challenge.

This presentation examines how public libraries can contribute to the development of dementia-friendly communities and discusses their social significance as spaces for reducing dementia-related stigma and promoting social inclusion.



Dr. Di Wang

Director,
International Exchange Center, iSchool,
Renmin University of China

Presentation: Navigating AI in Smart Library Transformation: How Chinese Libraries Respond and Adapt

As artificial intelligence (AI) reshapes the information landscape, libraries are facing new opportunities, challenges, and transformation pressures. This presentation investigates how Chinese libraries respond to AI in the transition toward smart libraries, focusing on four analytical dimensions: response types, response modes, response conditions, and response environments. Drawing on in-depth interviews with leaders and experts from the National Library of China, academic libraries, and public libraries, the study constructs an evolutionary model of library responses to AI. The presentation further identifies strategic pathways for libraries to strengthen adaptive capacity, enhance service innovation, and advance sustainable transformation in the age of AI.

Dr. Han Liu

Associate Professor,
School of Cultural Heritage and Information Management,
Shanghai University

Presentation: STEM Reading with Experiencing: How Libraries Make Science Reading Alive and Available for All Children

The Shanghai Children's Library (China) STEM Whiz Kids reading promotion program, recipient of the 19th EIFL Public Library Innovation Award, has achieved notable innovations across service philosophy, program design, management implementation, and service outcomes. As a representative case of China's public libraries in the high-quality development stage, STEM Whiz Kids exemplifies the evolving trajectory of library reading promotion toward lifelong education, socialized operation, refined content, and localized service, while demonstrating sustained innovation in enhancing science literacy reading experiences, fostering early STEM education, strengthening family engagement, and supporting lifelong learning in the AI era. Drawing on historical documentation of the program, this case study employs semi-structured interviews (with both librarians and participating families) and field observation to examine the program's embodiment of the contemporary library ethos, its vision for future development, and its implications for the field.



Regional Food Knowledge for Global Health: Functional Foods and Beyond



Open-Theme Session 4-9



DATE

October 1st, 2026



TIME

15:00 – 18:35 (JST)



VENUE

International Conf. Room
(University Hall C)



PARTICIPATION

Hybrid (On-site & Online)
Free of charge



SESSION LINK

<http://tgsu.tsukuba.ac.jp/sessions/4-9>

WELCOMING REMARKS

TBA

Prof. Hiroko ISODA
Director,
ARENA, Univ of Tsukuba



SESSION OVERVIEW

The session will open by celebrating the 70th Anniversary of Tunisia–Japan Diplomatic Relations, showcasing more than 20 years of scientific collaboration between ARENA and Tunisia.

The second part of the session will highlight ARENA's expansion through the emerging concept of "Food as Medicine," combining global science and regional food knowledge.

DISTINGUISHED GUESTS



H.E. Ahmed CHAFRA
Ambassador,
Embassy of the
Republic of Tunisia in
Japan



Mr. Yoshinori TAKEDA
Director,
1st Middle East Div., Middle
Eastern and African Affairs
Bureau, Ministry of Foreign
Affairs of Japan

ARENA GLOBAL NETWORK



ARENA's global research network has evolved from its foundations in North Africa to the Mediterranean and now extends across Europe, Central Asia, and the Global South. Beginning with interdisciplinary collaborations in Tunisia, Morocco, Egypt, Libya, Algeria, and Mauritania, ARENA has built more than 20 years of sustainable partnerships through the JST-SATREPS programs.

Today, the network continues to expand through collaborations with leading international institutions, integrating biosciences, environmental and energy sciences, humanities, ICT, and innovation to address global challenges in health, food systems, and sustainability.

SESSION CHAIRS



Dr. Farhana FERDOUSI
Assistant Professor,
Inst. of Life and
Environmental Sciences,
Univ of Tsukuba



Dr. Munkhzul GANBOLD
Senior Researcher,
Alliance for Research on the
Mediterranean & North Africa,
Univ of Tsukuba

SESSION PROGRAM

OPENING REMARKS & SESSION OVERVIEW

15:00 – 15:05 Session Overview

15:05 – 15:10 Welcome remarks by **Prof. Hiroko ISODA**, Director, ARENA

CELEBRATING THE 70TH ANNIVERSARY OF TUNISIA–JAPAN DIPLOMATIC RELATIONS

15:10 – 15:25 **H.E. Ahmed CHAFRA**, Ambassador, Embassy of the Republic of Tunisia in Japan

15:25 – 15:40 **Mr. Yoshinori TAKEDA**, Ministry of Foreign Affairs of Japan

15:40 – 16:00 Two Decades of Tunisia–Japan Collaboration in Environment and Bioresources Research and Innovation for Sustainability
Dr. Mohamed KEFI, Associate Professor, Technopark of Borj Cedria, Tunisia

16:00 – 16:20 Nitration retusa as a Functional Food with Anti-Obesity and Hypolipidemic Effects: From Regional Knowledge to Clinical Evidence
Dr. Aicha LAOUANI, Assistant Professor, Faculty of Medicine, Univ of Sousse, Tunisia

16:20 – 16:40 Elucidation of the Preventive and Therapeutic Effects of Rosmarinus officinalis Extract on Neurodegenerative Diseases and Its Underlying Mechanisms
Dr. Kazunori SASAKI, Senior Researcher, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST), Japan

16:40 – 16:55 ☕ Tea Break (15 min)

RESEARCH ACTIVITIES IN ARENA AND EXPANSION OF ARENA COLLABORATIONS

17:00 – 17:15 TBA

17:15 – 17:35 Lipid-Based Nanosystems for Coenzyme Q10: Biopharmaceutical Characterization and Enhanced Brain Delivery
Prof. Md. Selim REZA, Dean, Faculty of Pharmacy, University of Dhaka, Bangladesh

17:35 – 17:55 Functional properties of plant and animal origin traditional foods of Mongolia
Prof. Soninkhishig TSOLMON, Associate Professor, Mongolian University of Science and Technology, Mongolia

17:55 – 18:15 Inhibitory effects of cashew Anacardium occidentale L. kernel, apple, and shell extracts on lipid accumulation and adipogenesis in 3T3-L1 adipocytes
Dr. Munkhzul GANBOLD, Senior Researcher, ARENA, University of Tsukuba, Japan

18:15 – 18:35 Long non-coding RNA regulation of squalene in adult neurogenesis
Prof. Francis SZELE, Associate Professor, Department of Physiology, Anatomy & Genetics, University of Oxford, UK

PANEL DISCUSSION & CLOSING REMARKS

18:35 – 18:50 **Professor Kenichi Kashiwagi**, Vice-Director, ARENA
Cross-cutting discussion across all presentations, Audience Q&A, Key take-home messages and future directions



**REGISTRATION REQUIRED
FREE OF CHARGE**
<https://tgsu.tsukuba.ac.jp/>

SESSION ORGANIZER:

Dr. Farhana FERDOUSI; Email: ferdousi.farhana.fn@u.tsukuba.ac.jp

CO-ORGANIZER:

Dr. Munkhzul GANBOLD; Email: ganbold.munkhzul.gt@u.tsukuba.ac.jp

ARRANGED BY

Alliance for Research on the Mediterranean and North Africa (ARENA), University of Tsukuba
Email: arena_office@un.tsukuba.ac.jp

Session 4-10



TSUKUBA GLOBAL
SCIENCE WEEK 2026

From the Field to the Future: Student-Led Pitching Sessions Addressing Environmental, Disaster and Energy Challenges

Thursday, 1 October 14:00-17:00
5th Conference Room

This session features a pitch competition by Japanese and Ghanaian students from the University of Tsukuba's fieldwork-based course. Drawing on field visits to Ibaraki, Fukushima, and Tokyo, students explore challenges related to the environment, disasters, and energy, and propose science-based solutions through collaborative learning. Their pitches demonstrate how experiential learning, international collaboration, and student creativity can contribute to addressing global challenges and co-creating a sustainable and harmonious future.



Contact: Inter-University Exchange Project (Japan-Ghana) Office
interuniv-ghana-jp@un.tsukuba.ac.jp

Date & Time: October 2 Fri. 14:00 - 16:30

Room: Conference Room #5

Methodology of Human Development - Interrogating the Border between Human and AI -

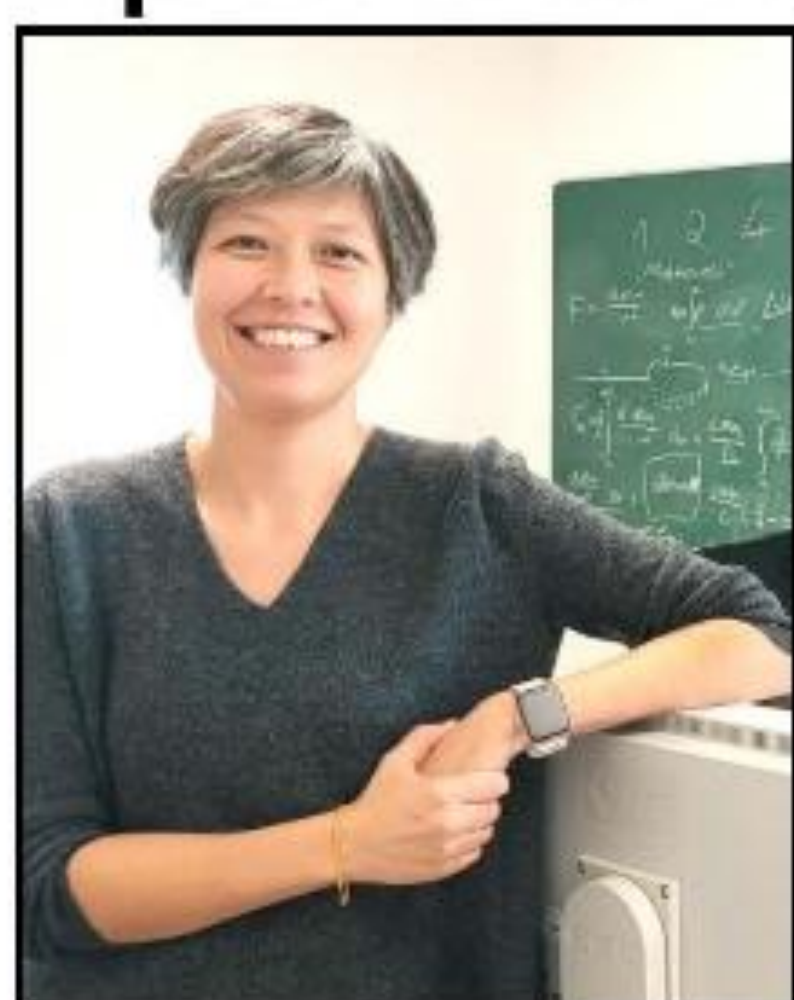
Outline of the session

How can domestic educational activities embedded in social and cultural systems address the educational challenges in the context of globalization? This question will be revisited in the context of educational implementations that inevitably draw attention to the boundary between humans and AI.

Program

Time	Title/Contents	Speaker
14:00	Integrating AI-Literacy and Computational Thinking in Mathematics Education: Implications for human-machine collaboration	Oi-Lam Ng (The Chinese University of Hong Kong)
14:40	Who Produces Knowledge in the Age of AI?: Participatory Action Research with Immigrant Youth	Tomoko Tokunaga (University of Tsukuba)
15:00	Tokkatsu Beyond Borders: Reimagining Japanese model for holistic development in Egypt.	Tetsuo Kyomen (University of Tsukuba)
15:20	The same text, different readers, different difficulty. What can AI capture—and what does it miss?	Shingo Nahatame (University of Tsukuba)
15:50	General Discussion	

Speakers



Oi-Lam Ng
The Chinese University of Hong Kong



Tomoko Tokunaga



Tetsuo Kyomen



Shingo Nahatame



Kotaro Komatsu



Yoshinori Shimizu

University of Tsukuba

Co-chairs

Contact: yshimizu@human.tsukuba.ac.jp



Jigoro Kano and **Education:**

His Legacy and the
Challenges of the
21st Century

1st - 3rd **OCTOBER 2026**

TSUKUBA GLOBAL SCIENCE WEEK

Date & Time: October 2 Fri. 14:00 - 16:30

Room: Sixth Conference Room

4 - 13 Tsukuba Universal Alumni Network (TUAN) - Connecting Students with International Alumni -

Outline of the session

The 3rd General Meeting of the Tsukuba Universal Alumni Network (TUAN) will be held to strengthen connections among TUAN members. As a side event, "Alumni Talk" will feature lectures by alumni active both in Japan and abroad, providing opportunities for knowledge sharing and mutual inspiration among alumni, as well as offering current students—including new students—an opportunity to reflect on their future career paths.

Building on the lectures, a career networking session will be held where students and alumni can engage in open discussions. Through this interactive exchange, students will gain practical insights, tips, and concrete advice to support their career development, while alumni can share experiences and contribute to shaping the next generation of professionals.

Program

Time	Title/Contents	Speaker
14:00-14:30	3 rd TUAN General Meeting	TUAN Representatives
14:30-15:30	Alumni Talk	Guest Alumni Speaker
15:30-15:40	Break	
15:40-16:30	Career Networking Event	TUAN Representatives Guest Alumni Current Students

Speakers

TUAN Representatives



Dr. NGO THI
LAN PHUONG



Dr. MARIA LISSETH
MORALES ALIAGA



Dr. OMAR SAMIR AHMED
ABDELWAHED AHMED



Dr. KHAN HIDAYAT
ULLAH

Date & Time: October 2, 2026, 15:00~17:00

Venue: University Hall

Shaping Global Start-uppers: Co-Creation for Global Futures



Discover how students are creating social impact beyond borders through global learning and collaboration. Hear the inspiring stories, practical experiences, and personal growth from domestic and international programs, highlighting how cross-cultural understanding, multilingual communication, global awareness, and career development empower the next generation of as Global Start-Uppers while shaping the future of education.

Program

Time	Contents
15:00 - 15:15	Opening Remarks 1. Representative of University of Tsukuba 2. Representative of Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)
15:15 - 15:25	Overview of University of Tsukuba's Initiatives
15:25 - 16:05	Student Presentations ~Stories of Multicultural Co-learning~
16:05 - 16:45	Faculty Panel Discussion ~What makes a Global Start-Upper?~
16:45 - 16:55	Question & Answer
16:55 - 17:00	Closing Remarks and Future Perspectives



Panelists and Moderators



Jun IKEDA
Head
Social Impact Promotion Office



Nakao NOMURA
Leader
Multicultural Co-learning Task Force



Maki TSUJIMURA
Faculty Representative,
OD/O in Malaysia



Kyota YAMADA
Faculty Representative,
OD/O in France



Takahiro MORIO
Faculty Representative,
OD/O in Taiwan



Aaron MENA
Project Professor



Soraya LIU
Project Associate Professor



Arvin VALDERRAMA
Project Coordinator



Nao ISHIHARA
Project Coordinator

Lessons from Forerunners:

Professionals Bridging Japan and the World, the Series

1 OCTOBER 2026
3-5 PM

TSUKUBA GLOBAL SCIENCE WEEK



Date & Time: October 1st (Thu) 15:00-18:00
Room: Sixth Conference Room

5 - 1 University of Tsukuba × SDGs
- Insights from the "Campus Cafeteria Menu CO₂ Visualization Project" -

Outline of the session

We present an overview of the "Campus Cafeteria Menu CO₂ Visualization Project" conducted by the Organization for DESIGN THE FUTURE. The project promotes decarbonization by visualizing the carbon footprint of cafeteria menus, encouraging more sustainable food choices in everyday life. The session features a keynote lecture by **Dr. Masahiro KAWATEI** on the role of design in advancing sustainability, drawing on his experience in creating Japan's SDGs icons. Students will also present their environmental communication initiatives and lead an interactive workshop, inviting participants to explore and design their own sustainable actions.

Program

Time	Title/Contents	Speaker
15:00	Opening Remarks (TBC)	Associate Professor Takeshi MIZUNOYA University of Tsukuba
15:15	Keynote Lecture Designing the Future: Social Transformation Through the SDGs Icons and Expectations for the Next Generation (TBC)	Dr. Masahiro KAWATEI HAKUHODO Fellow, Secretary General, Public Private Forum on Beyond SDGs
16:25	Activity Reports Overview and Insights from "Campus Cafeteria Menu CO ₂ Visualization Project" 2025	Student Representatives
16:40	Workshop Brainstorm and share your "Sustainable Actions"	Facilitated by Student Representatives
17:40	Closing Remarks (TBC)	Vice President Chizuru NISHIO University of Tsukuba

Program and speakers are subject to change.

Speakers



(Keynote Speaker)

Dr. Masahiro KAWATEI

Special Appointed Professor, Keio University
 HAKUHODO Fellow,
 Secretary General, Public Private Forum on
 Beyond SDGs



(Opening Remarks)

Associate Professor

Takeshi MIZUNOYA

University of Tsukuba
 Institute of Life and Environmental Sciences



(Closing Remarks)

Vice President Chizuru NISHIO

University of Tsukuba
 Vice President and Executive Director
 for Planning, Evaluation and Public Relations

Contact: sdgsweb@un.tsukuba.ac.jp